

基本目標Ⅴ 国際的協調と国際理解の推進

<注>

- 予算額の「-」は、事業としては行うが、その事業のみでの予算額の算定は困難なものを表す。
（例）公共施設建設の際の高齢者への配慮など

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 1 国際的協調の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成25年度事業実績	事業の進捗状況	平成25年度 決算額(千円)	平成26年度事業計画	平成27年度以降	担当課
					平成26年度 予算額(千円)			
180	男女平等参画に関する国際的な条約等の周知推進	国際社会における様々な取り組みと密接な関係にある条約等について、国際的協調のもと周知を図っていく。	図書・資料コーナーを整備し、周知を図った。 また、国際社会から見た日本の男女平等参画について啓発するために、日本の「ジェンダー・ギャップ指数」について、びよんどの記事で紹介した。	評価 B 前年度と同様に実施した。	—	引き続き周知を図る。	事業内容を精査しながら、平成27年度以降も実施していく。	男女平等参画課
181	国際会議への市民の参加の支援	世界的視野で男女平等参画社会を推進するため、国際会議への市民の参加を支援する。	実績なし	評価 C	—	引き続き情報収集及び提供を行う。	事業内容を精査しながら、平成27年度以降も実施していく。	男女平等参画課
182	人づくりを通じた国際協力の推進	JICA等の活動について、市報による啓発・広報活動の支援	広報みと3月15日号及び協会ホームページに、青年海外協力隊・シニア海外ボランティア募集記事を掲載	評価 B 主催者側のJICAと協議の上、広報協力を行うものである。前年度と同様、H25年度についても広報活動を行った。	—	広報みと等に記事掲載	将来的により良い協力関係の構築を目指す	地域振興課 (国際交流協会)

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 2 国際理解と国際交流の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成25年度事業実績	事業の進捗状況	平成25年度 決算額(千円)	平成26年度事業計画	平成27年度以降	担当課
					平成26年度 予算額(千円)			
183	国際理解のための講座の開催	世界各国の生活・文化・歴史等の理解を深める。	<p>1 世界の料理講座～つくってみよう世界の料理～ 外国人市民を講師として招き、世界のような国や地域の料理を通して、それぞれの国の文化や習慣を学ぶ料理講座を開催した。 ①パキスタン編 期日：平成25年9月7日(土) 対象：一般 内容：カライ・ゴーシュトゥ(チキンカレー)、ナン、シーコルマ(細バスタとドライフルーツのミルク煮デザート)、チャイといったパキスタンの家庭料理の実習及び文化の紹介を行った。 講師：ヤスミン・ベガム(カラチ出身) 受講者数：20人</p> <p>2 青少年のための国際理解講座 次世代のグローバル社会を担う青少年を対象に、外国語や外国文化に触れる機会を設け、広い視野を持った国際感覚を育むことを目的に講座を開催した。 ①「サマークラス for ジュニア -ガーナ編-」 期日：平成25年7月27日(土) 対象：小学生とその保護者 内容：異文化理解の楽しさを知ってもらい、国際交流のきっかけ作りとなることを目的に講座を開催した。今回は、リズム遊びや英語を使ったゲームを通して、ガーナの文化を学んだ。 講師：エイキンズ・パーコフィー(茨城大学教育学部付属小学校ALT) 受講者数：64人(子ども37人、保護者27人) ②学生に伝えたい「私と仕事をつないだ国 -ドイツ編-」 期日：平成25年12月22日(日) 対象：中学生、高校生 内容：海外での経験を活かし、市内で仕事をしている方を講師に迎え、夢を実現するまでの経験談や異文化体験について講演した。 講師：池田 誠子(ドイツフロッリストマイスター、「憧れ花のアトリエ」経営者) 受講者数：18人(中学生5人、高校生13人)</p> <p>3 世界の歩き方講座 各分野の専門家を講師として招き、世界の文化、歴史、社会、そして現地の歩き方などを学ぶことを通して、国際理解を深めることを目的とした講座を開催した。 ①ハブスブルグ帝国編 期日：平成25年7月17日(水)、24日(水) 対象：一般 内容：ハブスブルグ帝国の中心であったオーストリアやその周辺諸国に焦点をあて、帝国の足跡や文化遺産、各国の歴史・文化、街の楽しみ方などについて理解を深めた。</p>	<p>評価 B 前年度同様、定期的に市民向けの国際理解講座を開講した。</p>	649	<p>(1)親と子の国際理解講座 6月、12月 (2)青少年のための国際理解講座 7月～8月 (3)国際理解のつどい 11月 (4)世界の文化講座 6月～7月、11月～12月、1月～2月 (5)世界の文化と芸術講座 1月～2月 (6)世界の料理講座 6月～7月、11月～12月、1月～2月 (7)ホビングリッシュ講座 6月～7月、9月～10月、1月～2月 (8)子どものための国際教育講座 7月～9月 (9)そのほかの国際理解講座 随時</p>	事業内容を精査しながら、平成27年度以降も実施していく。	地域振興課 (国際交流協会)

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 2 国際理解と国際交流の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成25年度事業実績	事業の進捗状況	平成25年度 決算額(千円)	平成26年度事業計画	平成27年度以降	担当課
					平成26年度 予算額(千円)			
183	国際理解のための講座の開催	世界各国の生活・文化・歴史等の理解を深める。	<p>第1部(7/17)：オーストリアとその首都ウィーン 第2部(7/24)：帝都の失われし遺産を残す東欧諸国 講師：大島 規江(茨城大学教育学部准教授) 受講者数：66人</p> <p>②イタリア編 期日：平成25年10月9日(水)、10月16日(水) 対象：一般 内容：イタリアに焦点をあて、音楽・声楽の話題などを中心に、歴史や文化、街の楽しみ方などについて理解を深めた。 第1部(10/9)：イタリアの音とリグーリアの色 第2部(10/16)：東リヴィエラの海と食 講師：谷川 佳幸(茨城大学教育学部准教授、テノール歌手) 受講者数：74人</p> <p>③北部イングランド・スコットランド編 期日：平成26年3月4日(火)、11日(火) 対象：一般 内容：北部イングランドとスコットランドに焦点をあて、街の魅力と英国の楽しみ方などについて理解を深めた。 第1部(3/4)：北部イングランド探訪 第2部(3/11)：「蛍の光、窓の雪」～スコットランドとは 講師：高妻 孝光(茨城大学大学院理工学研究科教授) 受講者数：71人</p> <p>4 ホビングリッシュ講座 「ホビー(趣味)」と「イングリッシュ(英語)」を合わせた造語「ホビングリッシュ」。毎回異なったテーマを取り上げ、外国人講師とともに英語で取り組むことにより、参加者が自然な英会話を楽しみ、講師との交流から外国文化への理解を深めることを目的として実施した。</p> <p>①スペイン編 期日：平成25年11月30日(土) 対象：一般(英語初級者向け) 内容：スペインの小皿料理「タパス」作りを通して、スペインの食文化や生活習慣などについて英語で学んだ。 講師：エルネスト・ホアキン(水戸市英語指導助手) 受講者数：20人</p> <p>②ケーキポップス編 期日：平成25年12月15日(日) 対象：一般(英語初級者向け) 内容：アメリカで人気のお菓子「ケーキポップス」作りを中心に、アメリカの文化について英語で学んだ。 講師：メリー・マーガレット・フィッシュ(水戸市英語指導助手) 受講者数：18人</p> <p>③CMで見る文化比較論編 期日：平成26年2月1日(土) 対象：一般(英語中上級者向け) 内容：北米のコマーシャル(CM)を題材に、CMを通して見られる文化の違いなどを英語で学び、異文化について理解を深めた。 講師：ジョイス・カニンガム(茨城大学名誉教授) 受講者数：24人</p>					地域振興課 (国際交流協会)

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 2 国際理解と国際交流の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成25年度事業実績	事業の進捗状況	平成25年度 決算額(千円)	平成26年度 予算額(千円)	平成26年度事業計画	平成27年度以降	担当課
183	国際理解のための講座の開催	世界各国の生活・文化・歴史等の理解を深める。	<p>5 親と子の国際講座(水戸ユネスコ協会青年部と共催) 小学生とその保護者を対象に、外国や日本の文化に触れることを通して、相互理解の精神を身につけ、多様な社会や文化の中で共に生きていく力を楽しみながら育むことを目的に実施した。</p> <p>①なりきり！世界体験ツアー 期日：平成25年6月29日(土) 対象：小学生とその保護者 内容：世界6つの国(エジプト、フランス、インドネシア、カンボジア、ペルー、オーストラリア)を取り上げ、各国の風土・国旗・文化・世界遺産についてクイズ形式で学ぶとともに、ペルーの料理「ソバ・ミヌータ(野菜スープ)」作りを留学生と体験した。 受講者数：38人(子ども22人、保護者16人)</p> <p>②発見！世界の歌と踊り 期日：平成25年12月7日(土) 対象：小学生とその保護者 内容：身近な材料を使って外国の楽器を作製したり、欧米の童謡やダンスを学ぶなど、各国の文化や特色を肌で感じながら国際理解を深めた。 受講者数：17人(子ども10人、保護者7人)</p> <p>6 国際理解のつどい(メサフレンドシップと共催) 期日：平成25年12月8日(日) 対象：一般 内容：国際交流の最前線で長年活躍されてきた岩本郁子氏(茨城県国際交流協会事務局長)を講師に迎え、民間団体と行政の両視点から、国際交流について講演を行った。 参加者数：70人(うち外国人7人)</p>					地域振興課 (国際交流協会)	

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 2 国際理解と国際交流の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成25年度事業実績	事業の進捗状況	平成25年度 決算額(千円)	平成26年度事業計画	平成27年度以降	担当課
					平成26年度 予算額(千円)			
184	外国人と市民との交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流パーティーの開催 国際理解のための外国人紹介 どうようサロンの開催 	<p>1 国際交流パーティーの開催 市内及び水戸市近郊に在住する外国人市民と地元市民がお互いの文化を紹介し体験するとともに、交流パーティーを通して相互理解を深めることを目的として開催した。 (1) 花火鑑賞会 期日：平成25年8月2日(金) 内容：花火大会(青門まつり)の鑑賞を通して、地域住民と外国人市民との交流を図った。 参加者数：104人(うち外国人53人) (2) お月見パーティー(ラブニールと共催) 期日：平成25年10月5日(土) 内容：お月見をテーマに日本文化(着付け、けん玉、書道、折り紙、茶道)を紹介したほか、地域住民と外国人市民との交流を図った。 参加者数：139人(うち外国人62人) (3) 新年パーティー(ラブニールと共催) 期日：平成26年1月25日(土) 内容：日本語教室の生徒による発表会を行ったほか、地域住民と外国人市民との交流を図った。 参加者数：100人(うち外国人47人)</p> <p>2 国際理解のための外国人紹介 国際理解推進のため、市内の学校や公的機関等が、国際交流に関する講座等を開催する際に外国人市民を紹介した。 紹介数：11件(小学校7件、高校3件、その他の公的機関等1件) 紹介者数：24人</p> <p>3 どうようサロンの開催 (1) どうようサロン -マルチリンガル- 国籍や言語に捉われない交流の機会を提供し、市民の国際感覚の醸成や国際理解の増進を図ることを目的に、毎月第1土曜日などに開催した。実施回数：12回 参加人数：334人(うち外国人53人) (2) 韓国語どうようサロン ～トコトン韓国～ 気軽に韓国語を使える機会を提供するとともに、韓国出身の市民を交えて、相互理解を図ることを目的に毎月3土曜日などに開催した。実施回数：12回 参加人数：168人(うち外国人33人) (3) 中国語どうようサロン ～ニーハオ！中国～ 気軽に中国語を使える機会を提供するとともに、中国出身の市民を交えて、相互理解を図ることを目的に毎月第4土曜日などに開催した。実施回数：12回 参加人数：138人(うち外国人28人)</p>	<p>評価 B 前年度同様、外国人と市民が互いの文化を紹介し体験するとともに、相互理解を深めることを目的として、国際交流パーティー及びどうようサロンを開催した。</p>	366	<p>(1) 国際交流パーティーの開催 時期：10月、1月(年2回) (2) 国際理解のための外国人紹介 時期：随時 (3) どうようサロンの開催 時期：毎月第1・3・4土曜日(月3回) (4) どうようサロンパーティー(特別企画)の開催 時期：5月、8月、11月</p>	事業内容を精査しながら、平成27年度以降も実施していく。	地域振興課(国際交流協会)
					228			

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 2 国際理解と国際交流の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成25年度事業実績	事業の進捗状況	平成25年度 決算額(千円)	平成26年度 予算額(千円)	平成26年度事業計画	平成27年度以降	担当課
185	国際交流に関する情報の収集及び提供	<ul style="list-style-type: none"> ・機関紙の発行（日本語版） ・外国及び日本の文化、国際交流等に関する図書・資料等を収集した図書コーナーの充実及びインターネットによる情報の提供 	<p>1 協会機関紙等による情報発信</p> <p>(1)協会機関紙の発行 日本語版：4回発行(5月, 8月, 11月, 3月:各2,000部作成) 市内公共施設, 姉妹都市関係者及び寄付者などを中心に送付 5月(45号)平成25年度の事業計画 8月(46号)自治体国際交流表彰(総務大臣賞)受賞 11月(47号)水戸市学生親善大使派遣, どうようサロン特集等 3月(48号)国際交流のつどい, 外国人市民のためのイベント, 特集:外国人から見た日本等</p> <p>(2)広報資料の頒布 情報発信の一環として, 協作成のエコバック, クリアファイル, 英文地図といった広報用資料を頒布した。</p> <p>(3)図書・資料等の収集及び提供 日本語教室用の教科書や国内外の図書及び資料等を収集し提供した。</p> <p>(4)パソコンの利用・提供 情報コーナーにパソコンを設置し, 来館者に提供した。 パソコン利用: 436件(うち外国人317人)</p> <p>(5)ホームページによる情報提供 ホームページによる協会の最新情報, 事業内容, 運営情報等を提供した。訪問者数: 21,177件</p>	<p>評価 A 前年度同様, 機関紙の発行やホームページによる情報提供等を行った。本年度は, 自治体国際交流表彰(総務大臣賞)の受賞に伴い, 機関紙臨時号を発行し, また館内に受賞関連の特設コーナーを設け, そこに機関紙も設置したことにより, 機関紙の配布機会が例年より多かった。また, 「広報みと」に協会の特集記事が掲載されたことにより, 協会及びセンターの認知度が上がり, 結果として情報提供の機会の増えたと考えられる。</p>	1,469	1,043	<p>(1)協会機関紙の発行 (2)資料の収集及び提供</p>	<p>事業内容を精査しながら, 平成27年度以降も実施していく。</p>	<p>地域振興課 (国際交流協会)</p>

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 2 国際理解と国際交流の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成25年度事業実績	事業の進捗状況	平成25年度 決算額(千円)	平成26年度事業計画	平成27年度以降	担当課
					平成26年度 予算額(千円)			
186	英語教育や国際理解教育の充実(再掲)	(再掲21)			(一)			総合教育研究所
187	民間団体(NGO)等の交流活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流のつどいの開催 利用者団体連絡会の開催 日本語ボランティア団体連絡会(5団体/月)及び研修会の開催 	<p>1 国際交流のつどいの開催 市民及び外国人市民との交流の場を提供するとともに、市民の国際理解の推進を図った。また、「日本・ポリビア多民族国 外交関係樹立100周年」に合わせ、関係団体等と連携し、ポリビアの文化や最新情報を紹介する事業を同時に開催した。</p> <p>(1)各種パネル展の開催 期間：平成26年2月15日(土)～3月22日(土) 観覧者数：769人 ① 国際交流団体活動紹介パネル展 内容：水戸市国際交流センターを拠点として活動する国際交流団体等の日頃の活動状況を紹介するパネル展を開催した。 参加団体：15団体 ② ポリビア紹介展 内容：ポリビアの基本情報や歴史、文化などを知ることが出来るポスターや写真パネル、出版物、土器、工芸品、民族衣装などを展示した。 協力：社団法人日本ポリビア協会、株式会社サザコーヒー、東京大学総合研究博物館、公益財団法人茨城県国際交流協会 (2) 講演会「五感で感じる！ポリビア」の開催 期日：平成26年2月15日(土) 講師：福田 大治(チャランゴ奏者、大学講師)、 犬伏 青敏(ギター伴奏) 内容：ポリビアの歴史や文化、社会に関する講演のほか、チャランゴの演奏会を開催した。 参加人数：60人 (3) トークショー「ポリビア音楽の楽しみ」の開催 期日：平成26年2月23日(日) 講師：飯田 利夫(株式会社IBSアナウンサー、ラジオ番組司会者) 内容：南米の民族音楽「フォルクローレ」のレコードやCDを聞きながら、ポリビア音楽について紹介した。 参加人数：43人</p>	<p>評価 B 前年度同様、国際交流のつどい、利用者団体連絡会議およびMIJ研修会を行った。</p>	689	<p>(1) 国際交流のつどいの開催 (2) 国際交流団体連絡会の開催 (3) 外国人に日本語指導をしているボランティア団体への支援</p>	<p>事業内容を精査しながら、平成27年度以降も実施していく。</p>	地域振興課(国際交流協会)
					477			

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 2 国際理解と国際交流の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成25年度事業実績	事業の進捗状況	平成25年度 決算額(千円)	平成26年度事業計画	平成27年度以降	担当課
					平成26年度 予算額(千円)			
187	民間団体(NGO)等の交流活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流のつどいの開催 利用者団体連絡会の開催 日本語ボランティア団体連絡会(5団体/月)及び研修会の開催 	<p>(4) 講演会「ボリビアで教えたこと、教えられたこと」の開催 期日：平成26年3月1日(土) 講師：近藤 桂(陶芸家、元JICA青年海外協力隊員) 協力：手打ちそば「にのまえ」(南米料理提供) 内容：青年海外協力隊での経験をもとに、旅行では分からない現地事情やボリビアの文化、人々の生活について紹介した。 講演後は、南米料理「ギソ」を試食しながら、講師を囲んでボリビア文化への理解を深める交流会を実施した。 参加人数：40人</p> <p>2 国際交流団体連絡会議 ボランティア団体間の情報交換やセンター利用などをテーマとして、水戸市国際交流センターを拠点として国際交流活動をしているボランティア団体の連絡会議を開催しているが、今年度は団体ごとに意見・要望等を把握し、そのつど個別に対応した。</p> <p>3 外国人に日本語指導をしているボランティア団体への支援 ：MIJネットワーク支援 水戸市国際交流センターを拠点として外国人に日本語を指導しているボランティア団体のネットワーク組織である「水戸市国際交流センターボランティア日本語教室ネットワーク(通称MIJネットワーク)」の活動を支援した。 内容：日本語ボランティア団体が、毎月第2木曜日に行う会議や定期的に実施する研修会等の活動を支援した。 研修会：①「”Can-do”を取り入れた具体的な授業の進め方—事例案に沿った授業の進め方を中心に—」 期日：平成25年9月8日(日) 講師：新野 佳子(公益社団法人国際日本語普及協会) 参加人数：29人 ②文化庁「標準的なカリキュラム案」について —5点セットの説明と教材の使い方— 期日：平成26年3月9日(日) 講師：吉田 聖子(公益社団法人日本語教育学会) 参加人数：29人</p>					地域振興課 (国際交流協会)

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 2 国際理解と国際交流の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成25年度事業実績	事業の進捗状況	平成25年度 決算額(千円)	平成26年度 予算額(千円)	平成26年度事業計画	平成27年度以降	担当課
188	世界の諸都市との交流の促進	<p>国際親善姉妹都市アナハイム市及び友好交流都市重慶市を中心に、相互理解、友好親善を目的に市民間の交流を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アナハイム市訪問団派遣 ・アナハイム市訪問団受入 ・重慶市親善訪問団派遣 ・重慶市からの訪問団受入 ・重慶市青少年交流団受入 	<p>1 国際親善姉妹都市アナハイム市との交流</p> <p>①第7回自治体国際交流表彰(総務大臣賞)受賞 平成23年7月に実施した国際親善姉妹都市アナハイム市との交流事業「アナハイムからの応援メッセージ展」が、総務省及び財団法人自治体国際化協会が主催する「自治体国際交流表彰(総務大臣賞)」を受賞した。 受賞式：平成25年6月17日(月) 場所：ルポール麹町(東京都千代田区)</p> <p>受賞事業：「ガンバレ！MITO! ～アナハイムからの応援メッセージ展～」 内容：東日本大震災の被害を受けた水戸市のために、過去に水戸市を訪れたアナハイム市の学生親善大使が中心となり、「水戸市民に励ましの手紙を送るキャンペーン」を実施し、3,000通を超える手紙が水戸市に届けられた。これらの手紙を展示することにより、市民が姉妹都市交流を身近に感じ、同時にアナハイム市との絆をより深めてもらうとともに、届けられた手紙を通じた交流の促進に取り組んだ 受賞理由：東日本大震災後にアナハイム市民から寄せられた手紙展の開催等、市民レベルでの交流を促進し、また震災の経験や防災への取組みについて情報を共有した。</p> <p>②アナハイムからの特使の受入 期間：平成25年8月27日(火)～8月29日(木) 特使：マーク・ロベス氏(アナハイム市姉妹都市委員会委員) 内容：表敬訪問(水戸市長)、市内視察(水戸芸術館、植物園、国際交流センター等)</p> <p>③アナハイム市との教育交流事業 アナハイム市から英語指導助手の受入(採用)に向けて、水戸市教育委員会と連携しながら、アナハイム市関係機関と各種調整を行った。 採用者数：11人(更新を含む) 採用時期：平成25年4月1日</p> <p>2 友好交流都市重慶市との交流</p> <p>①重慶市親善訪問団の派遣(中止) 鳥インフルエンザの流行や大気汚染(PM2.5)問題を考慮し、参加者の安全を確保するため、派遣を中止とした。</p> <p>②重慶市親善訪問の受入(中止) 中国国内及び重慶市の諸事情により、重慶市親善訪問団の受入は実施に至らなかった。</p> <p>③重慶市青少年交流事業(中止) 中国国内及び重慶市の諸事情により、青少年交流事業は実施に至らなかった。</p>	<p>評価 B アナハイム市との長年の友好関係が評価され、自治体国際交流表彰(総務大臣賞)受賞に至った。 また、アナハイム市からの特使を受け入れた。一方で、鳥インフルエンザ等の事情により、重慶市との交流事業は実現しなかった。 前進もあり、後退もあったため、総合的には現状維持といえる。</p>	249	<p>(1) アナハイム市からの訪問団受入</p> <p>(2) アナハイム市への親善訪問団の派遣</p> <p>(3) 重慶市親善訪問団受入</p> <p>(4) 重慶市青少年交流事業</p> <p>(5) 他諸都市との交流</p>	<p>事業内容を精査しながら、平成27年度以降も実施していく。</p>	地域振興課(国際交流協会)	
					2,283				

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進
 主要課題 1 国際社会への参画促進
 主要施策 2 国際理解と国際交流の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成25年度事業実績	事業の進捗状況	平成25年度 決算額(千円)	平成26年度 事業計画	平成27年度以降	担当課
					平成26年度 予算額(千円)			
189	ホームステイ事業の実施	国際親善姉妹都市アナハイム市等と、青少年を相互に派遣し、ホームステイ等を通し相互の文化・習慣などについて理解を深める。	訪問団や学生親善大使の受入事業が中止となったため、ホームステイ事業を実施しなかった。	評価 C 訪問団や学生親善大使の受入事業は、相手国の事情を含めて調整のうえ、事業の実施を決定している都合上、ホームステイ事業を実施できない場合も想定される。	—	訪問団や学生親善大使の受入事業が実施されることが決定された場合、広報みや協会HPにより、ホストファミリー登録の募集を行う。	事業内容を精査しながら、平成27年度以降も実施していく。	地域振興課 (国際交流協会)
190	学生親善大使事業の実施	・水戸市学生親善大使の派遣 ・アナハイム市学生親善大使の受入	(1)水戸市学生親善大使の派遣 応募者：26人 (中学生9人,高校生17人) 選考試験：平成25年6月6日(木) 書類選考：6月16日(日) 面接・集団討論 派遣期間：平成25年7月26日(金)～ 8月11日(日)17日間 内容：アナハイム市でのホームステイ等を通じて、市民との友好交流、アメリカ合衆国の文化等の学習と体験、報告書発行 派遣人数：13人(中学生5人, 高校生5人,団長1人,協会職員2人) 団長：弘津 千絵(水戸市立第三中学校教諭) 結団式：平成25年7月7日(日) 研修：事前研修 平成25年7月7日(日), 14日(日), 21日(日) 事後研修 平成24年8月25日(日) (2)アナハイム市学生親善大使の受入(中止) 福島原子力発電所の事故による汚染水漏れなど、問題が解決されていないことから、派遣を見合わせたいとのアナハイム市側からの申し出があり、中止となった。	評価 B 前年度同様、福島原子力発電所の事故の影響への懸念から、アナハイム市学生親善大使の派遣が見合わせられるなど、震災の後遺症を拭き切れない現状にはあるが、本年度も水戸市学生親善大使を派遣し、友好を深めることが出来た。	2,389	(1)水戸市学生親善大使の派遣 (2)アナハイム市学生親善大使の受入	事業内容を精査しながら、平成27年度以降も実施していく。	地域振興課 (国際交流協会)
					2,661			

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 3 市内在住外国人の支援

No	具体的事業	事業の概要	平成25年度事業実績	事業の進捗状況	平成25年度 決算額(千円)	平成26年度事業計画	平成27年度以降	担当課
					平成26年度 予算額(千円)			
191	外国人を対象にした講座等の開催	外国人市民が水戸市や日本文化について理解を深める。 ・子ども向け日本語ボランティア講師の学校派遣事業 ・市内ウォッチング ・日本料理教室 ・スキー教室 ・防災訓練	1 子どものための日本語ボランティア学校派遣 水戸市教育委員会と連携しながら、日本語指導を要する在住外国人の子どもを対象に、ボランティアが市立小・中学校へ出向き、日本語を指導した。また、団体が行う定例会や定期的に実施する研修会等の活動を支援した。 (1) 日本語ボランティア学校派遣 対象児童・生徒数：11人 ボランティア数：10人 派遣学校：梅が丘小学校、城東小学校、新荘小学校、浜田小学校、稲荷第一小学校、妻里小学校、国田小学校、見川中学校、笠原中学校 派遣回数：832回(夏期補講を含む) (2) 定例会 毎月第1・2・3木曜日に定例会を開催した。 (場所：水戸市国際交流センター)	評価 A 前年度同様、外国人市民に対し、水戸市や日本の文化の良さを理解してもらうため、各種事業を行い、総合理解を深めた。また、災害弱者となりやすい外国人のための防災対策事業を強化し、防災訓練に併せて非常食に関する情報提供をした。その効果もあり、例年より多くの外国人が訓練に参加した。	1,108	(1)子ども向け日本語ボランティア講師の学校派遣 (2)日本文化体験と市内ウォッチング (3)日本料理教室 (4)スキー体験教室 (5)防災訓練	事業内容を精査しながら、平成27年度以降も実施していく。	地域振興課 (国際交流協会)
		2 外国人のための日本文化体験事業の実施 (1) 外国人のための日本料理教室 期日：平成25年11月9日(土) 対象：外国人 内容：そば打ち体験を通して日本の伝統料理に親しむとともに、日本文化への理解を深め、日本での生活を豊かにすることを目的として実施した。 講師：鈴木 洋(茨城蕎麦の会会員) 参加人数：14人 (2) 外国人のためのスキー体験教室(水戸市役所スキー部協力) 期日：平成26年2月21日(金) 対象：外国人		1,140				

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進
 主要課題 1 国際社会への参画促進
 主要施策 3 市内在住外国人の支援

No	具体的事業	事業の概要	平成25年度事業実績	事業の進捗状況	平成25年度 決算額(千円)	平成26年度事業計画	平成27年度以降	担当課
					平成26年度 予算額(千円)			
191	外国人を対象にした講座等の開催		<p>内容：雪に触れる機会の少ない外国人にスキー体験教室を通して、日本の自然の良さを知ってもらおうとともに、外国人同士の親睦・交流を図ることを目的として実施した。</p> <p>講師：水戸市役所スキー部員3人 参加者数：23人</p> <p>(3) 外国人のための市内ウォッチング 期日：平成25年11月21日(木) 対象：外国人 内容：外国人市民に水戸市の公共施設などを知ってもらい、今後積極的に利用してもらおうとともに、参加者同士の交流を深めることを目的として実施した。 大串貝塚や「水戸八景」などを見学したほか、水戸市及び近郊の食や観光地の魅力を知ってもらうため、生産現場を見学した。</p> <p>訪問先：明利酒類「別春館」酒蔵見学(水戸市元吉田町)、大串貝塚ふれあい公園散策(水戸市塩崎町)、水戸八景「水門(みなとの)帰帆(きはん)」(ひたちなか市和田町)、那珂湊おさかな市場(ひたちなか市湊本町)、水戸八景「巖(いわ)船(ふねの)夕(せき)照(しょう)」(大洗町祝町)、大洗リゾートアウトレット(大洗町港中央)、かねふくめんたいパーク(大洗町磯浜町)</p> <p>参加者：14人 (4) 外国人のための日本酒造り体験(吉久保酒造株式会社協力) 期日：平成26年1月19日(日) 対象：外国人 内容：日本酒造りを通して、日本の文化や習慣について理解を深めた。 参加人数：3人</p> <p>3 外国人のための防災対策事業 地震などの災害が発生した際、外国人が文化や習慣、言葉の違いから大きな被害を受けてしまうことを防ぐため、防災意識の啓発や防災対策事業を行った。 (1) 防災訓練 火災、地震発生時に適切で迅速な対応ができるよう大地震を想定し、地震及び火災の避難訓練や初期消火の訓練を行った。</p>				地域振興課 (国際交流協会)	

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 3 市内在住外国人の支援

No	具体的事業	事業の概要	平成25年度事業実績	事業の進捗状況	平成25年度 決算額(千円)	平成26年度事業計画	平成27年度以降	担当課
					平成26年度 予算額(千円)			
191	外国人を対象にした講座等の開催		<p>①6月期 期日：平成25年6月20日(木) 参加人数：11人(外国人1人，ボランティア等1人，協会役職員9人)</p> <p>②12月期 期日：平成25年12月14日(土) 参加人数：63人(外国人34人，ボランティア・警察署員等19人，協会役職員10人)</p> <p>(2) 非常食体験(日本赤十字社語学奉仕団協力) 内容：防災訓練後，日本赤十字社語学奉仕団の協力を得て，災害時の非常食(アルファ米，缶詰，ペットボトル水)の説明を行うとともに，試食会を実施した。 期日：平成25年12月14日(土) 参加者数：63人(外国人34人，ボランティア・警察署員等19人，協会役職員10人)</p>					地域振興課 (国際交流協会)

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 3 市内在住外国人の支援

No	具体的事業	事業の概要	平成25年度事業実績	事業の進捗状況	平成25年度 決算額(千円)	平成26年度事業計画	平成27年度以降	担当課
					平成26年度 予算額(千円)			
192	外国人の相談体制の整備・充実	生活様式や習慣の違いなどから生じる悩み事の相談に対し、アドバイスや情報を提供する窓口を設置する。 (随時、職員が対応)	1 相談窓口の常設 国籍等を問わず、生活様式や習慣などの違いから生じる悩みなどの相談に対し、アドバイスや情報を提供した。 内容：運転免許証の取得・書き換えに関する事、住宅に関する事、在留資格に関する事、国内外における投資・会社経営に関する事、労使間のトラブルに関する事 就職、日本語学習、ボランティア活動、翻訳に関する事など 相談者数：390人(うち外国人284人) 相談件数：390件 (電話・電子メール相談146件 来館相談244件)	評価 B これまで同様、国籍等を問わず生活様式や習慣などの違いから生じる悩みなどの相談に対し、アドバイスや情報を提供した。	—	相談窓口の常設	事業内容を精査しながら、平成27年度以降も実施していく。	地域振興課 (国際交流協会)
193	外国語による公共表示の推進	公共表示の所管部署に対し、外国語による表示の推進を働きかける。	市内公共施設等の名称看板や案内板・ガイドマップの作成時など、機会を捉えて所管部署へ英語表記の周知・啓発を図った。	評価 B 水戸市サインマニュアルに基づき、公共施設等の看板については、外国語の併記を促している。 一方で、サインマニュアルは公共施設等のサイン計画における手引きであることから、強制力が伴うものではないため、関係団体への徹底を図ることが難しい。	—	平成25年度と同様	第6次総合計画に位置づけられている「国際交流活動の推進」を図るため、引き続き、公共表示の所管部署に対し、外国語による表示の推進を働きかける。	地域振興課

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 3 市内在住外国人の支援

No	具体的事業	事業の概要	平成25年度事業実績	事業の進捗状況	平成25年度 決算額(千円)	平成26年度 予算額(千円)	平成26年度事業計画	平成27年度以降	担当課
194	外国語による情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> 生活ガイドブック、英文地図の提供 英語版避難場所地図/防災マニュアルの提供 機関紙（3か国語版）の発行 協会ホームページ（英語、中国語、ハングル）による情報提供 	<p>(1) 生活ガイドブック、英文地図の提供 英語と日本語併記の水戸市の生活ガイドブック（GUIDEBOOK FOR LIVING IN MITO）、英語で表記された水戸市の地図（MITO CITY GUIDE MAP）を頒布した。</p> <p>(2) 英語版避難場所地図/防災マニュアルの提供 英語で表記された水戸市内の避難場所地図及び地震などに対する防災マニュアルの頒布を行った。 (水戸市英文地図に掲載)</p>	<p>評価 A これまで同様、外国語による情報の提供を行った。また、外国人を対象とするメール配信を行い、よりタイムリーな情報提供を行うことが出来た。</p>	115	<p>(1) 多言語生活ガイド（リビング・インフォメーション）作成事業</p> <p>(2) 英文地図の提供</p> <p>(3) 英語版避難場所地図/防災マニュアルの提供</p> <p>(4) 機関紙(外国語版)の発行</p> <p>(5) 協会ホームページによる情報提供</p> <p>(6) 外国人のための生活情報紙(Culture Pot MITO)の発行</p>	<p>事業内容を精査しながら、平成27年度以降も実施していく。</p>	地域振興課 (国際交流協会)	
					115				<p>(3) 防災意識啓発事業「防災ノート」作成への協力 水戸市と市民団体「みと男女平等参画を考える会」が、協働して実施した「外国人市民のための防災ノート」作成事業に協力した。 協力内容：外国人市民からの聞き取り調査(8月29日、10月5日) 翻訳コーディネーターなどに協力した。</p> <p>(4) 3か国語版(英語・中国語・ハングル):年1回発行 (5月:1,000部作成) 外国人市民等に配布 5月(11号)平成25年度の事業計画</p> <p>(5) 協会ホームページによる情報提供 多言語(英語、中国語、ハングル)による情報提供を行った。</p> <p>(6) 外国人のための生活情報紙(Culture Pot MITO)の発行 水戸市に住む外国人に対して、生活に役立つ情報をわかりやすく届けるとともに、水戸市への理解を深めてもらうことを目的として、隔月の生活情報紙を発行した。 発行言語：ルビ付日本語版・英語版(隔月発行)</p> <p>(7) メール配信による情報の提供 メール配信を希望する外国人市民に対して、市内及び近隣市町村で行われるイベントや生活情報など、役に立つ最新情報を提供した。 配信言語：やさしい日本語(ルビ付き)、英語 対象：外国人市民(配信希望者) 内容：当協会実施の国際交流イベント(国際交流パーティー、日本文化体験教室、防災訓練 ほか)、一般イベント情報(元旦マラソン、朝市、桜・梅まつり ほか) 生活情報(無料電話相談、消費税増税 ほか) 配信回数：28回</p>

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進
 主要課題 1 国際社会への参画促進
 主要施策 4 国際平和・地球環境保全への貢献

No	具体的事業	事業の概要	平成25年度事業実績	事業の進捗状況	平成25年度 決算額(千円)	平成26年度事業計画	平成27年度以降	担当課
					平成26年度 予算額(千円)			
195	国際平和に関する展示等の開催	核兵器廃絶平和都市宣言の趣旨に基づき、各種の平和事業を実施し、国際平和への意識啓発を図る。また、平和記念館において平和に関する展示を行うことにより、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えるとともに、市民の平和意識の高揚を図る。	1 「わたしたちの平和」作文コンクール 市内の小学5年生から中学3年生までの児童、生徒を対象に実施。 応募総数10,287点 2 平和大使派遣 平和作文コンクール優秀者12人を平和大使として広島市へ派遣し、平和記念式典への参加等を行った。 (8月5日～7日) 3 平和記念館での戦災資料の展示 (来館者数1,496人) 4 語り部派遣による戦災体験講演 開催回数：11回 参加人数：1,045人 5 び～すプロジェクト 平和記念館、博物館、芸術館の3館の連携で、平和に関するイベントを集中的に実施した。 ・パイプオルガン・プロムナード・コンサート(芸術館) ・戦災体験講演会「わたしは戦争を忘れない」(博物館) ・水戸空襲を伝える紙芝居の制作・上演(博物館、平和記念館、見和図書館、及び西部図書館)	評価 A 多くの小中学生が平和作文コンクールや語り部講演へ参加したことにより、子どもたちが平和について考えるきっかけづくりができた。また、び～すプロジェクト等を開催し、様々なイベントを実施することにより、幅広い世代の平和意識の高揚を図ることができた。今後も、平和に関する各種事業を推進し、あらゆる世代における平和意識の醸成を図っていくことが必要である。	10,939	1 「わたしたちの平和」作文コンクール 2 平和大使派遣 3 語り部派遣による戦災体験講演 4 平和記念館での戦災資料の展示 5 び～すプロジェクト	平成27年度以降についても、引き続き市民の平和意識の高揚を図るため、各種の平和事業を継続して実施していく。	総務法制課
196	地球環境問題の啓発	地球温暖化対策について、水戸市地球温暖化対策実行計画に基づき市域全体の温室効果ガス排出量を削減するため、市民・事業者・行政が一体となった取組を実施していく。	○温暖化対策度チェック 市民向けのアンケート形式のチェックシートにより、温暖化対策に役立つコツを紹介する事業を実施した。 ○エコライフチャレンジ 家庭での省エネ対策として電気の使用量に着目し、昨年同月や他の参加者と使用量を比較することにより、自身のエネルギー使用に関心を持ってもらう取組。市内の全世帯を対象としたほか、環境教育の観点から小学校の4年又は5年生を対象として実施した。 ○メガソーラーみと発電所 市内の住宅、事業所等に設置されている太陽光発電を水戸のメガソーラーと仮定し、発電能力等を公表する事業を実施した。	評価 B 平成24年3月に温暖化対策実行計画に基づき、各施策を実施した。	455	おおむね昨年度と同様であるが、実施後の反省点から内容については改良を加え、より効果の高い事業の実施を目指していく。	事業の手法に創意工夫をしながら、継続	環境課
					871			

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進
 主要課題 1 国際社会への参画促進
 主要施策 4 国際平和・地球環境保全への貢献

No	具体的事業	事業の概要	平成25年度事業実績	事業の進捗状況	平成25年度 決算額(千円)	平成26年度事業計画	平成27年度以降	担当課
					平成26年度 予算額(千円)			
197	環境に配慮した施策の推進	地球温暖化を防止することや、雨水の有効利用及び地下浸透による地下水の涵養を促進し良好な水環境を創造することなどを目的とし、取組者に対して補助金を交付する制度を設けることにより、環境に配慮した機器等の普及促進を図る。	○住宅用太陽光発電システムの設置補助 補助件数 682件 補助額 40,666千円 ○雨水貯留・浸透施設設置補助 補助件数 38件 補助額 853千円	評価 B これらの補助制度により、住宅用太陽光システム及び雨水貯留・浸透施設の設置を助成し市内の設置箇所数を増加させることは、地球温暖化対策や地下水の涵養という直接的な効果だけでなく、未設置の市民への普及啓発効果も期待される。	41,519	○住宅用太陽光発電システム設置費補助制度(42,000千円) ○雨水貯留・浸透施設設置費補助制度(1,000千円)	継続	環境課
					43,000			
		調理くずや食べ残しを堆肥化し、野菜づくりやガーデニング等に利用することで、消費者としてごみの減量及び環境美化の向上を図る。	E Mボカシ活用 ①10月3日(木) 90人 ②10月17日(木) 83人 ③11月21日(木) 72人	評価 A	346	E Mボカシ活用講習会	事業内容を精査しながら、平成27年度以降も実施していく。	ごみ対策課 市民生活課
					400			